2026 年 4 月

修士論文及び学士論文の体裁について

1. 本文第1頁（表紙）には論文表題、卒業・修了年月、氏名を第1図の形式で書く。

2. 製本するため本文を書くとき第２図のように上下、左右の余白を 3.5,2.5,3.0,2.0cm あける。

3. 英文の場合、12ポイント、ダブルスペースで書き必ず各頁の中央下に頁数を入れる。ただし、表紙には頁数は入れない。

4. 和文の場合、1頁に1000字、なお必ず各頁の中央下に頁数を入れる。ただし、表紙には頁数は入れない。

5. 地質図類は 21×28 cm の大きさに折り袋に入れて本文に添付する。

6. 折込図表は、幅 20 cm、長さ 29.5 cm とする。

7. インクジェットプリンターでカラー印刷すると退色するので、そのカラーページは、カラーコピーして提出すること

8. 印刷は、基本的には片面印刷とする。

第 1 図

※フォントサイズ 20 ポイント

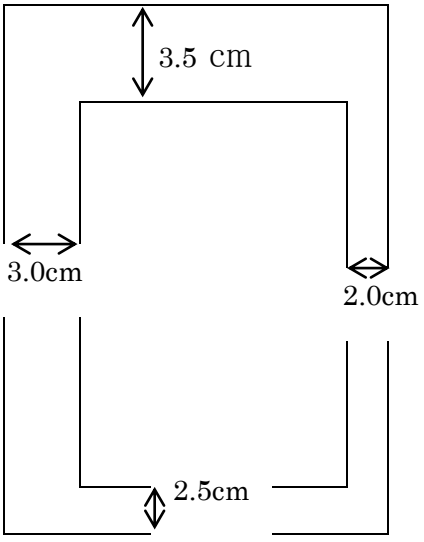
十和田火山の地質と岩石

令和 9 年3月（2027）

（学士論文）

岩 本 岩 雄

第 2 図



地球惑星物質科学講座

学位論文の提出・最終発表について

（2020 年 11 月改訂）

学位論文については、最終発表前に論文を提出することとなります。
修士・博士 （令和 8 年 12 月 21 日（月）午後 2 時 〆切）
学士（令和 9 年 1 月 18 日（月）午前 10 時 〆切）
また、発表時間は以下のとおりです。時間を厳守して下さい。

発表時間＋討論（分）
博士：45+30=75
修士：25+10=35
学士：25+10=35

なお、以下の点に留意して論文作成と発表準備を行ってください。

- 論文は、論文としての基本的な体裁（表紙・目次・英文要旨・本文・図・表・caption・ 引用文献・謝辞・付録等）の整ったものとする。英文要旨は1枚程度とする。卒論・修論発表者はこれとは別に、論文題名と提出者氏名等が入った英文要旨（論文と同じ内容のもの）を1部提出すること。詳細は下記に記載。
- 博論は仮製本し、令和 8 年 12 月 21 日（月）午後 2 時までに提出する。 博士論文は正本1部の他に副本（コピー、白黒可）を論文審査員の人数部数を作成し、同時に各審査員および学科委員室に提出する（副本は審査員の事前チェックならびに当日の回覧に用いる）。ただし、提出前に指導教員の合意を得ること。
- 修論・卒論については発表前の製本（修論：令和 8 年 12 月 21 日、卒論：令和 9 年 1 月 18 日提出段階）は不要。
- 卒論・修論提出時に出された英文要旨は、学科委員室で全教員人数分複写され、発表前に全教員に配布される。
- 発表は、液晶プロジェクターが使用可能。

学士論文・修士論文の場合、提出論文と同じ内容の英文要旨を別でもう 1 部準備する。本論文と同時に提出する。その英文要旨には必ず、論文題名、提出者氏名等の必要事項を記入すること（様式は別紙参照）。ここで提出された要旨は学科委員室で整理された後に発表前日までに全教員に配布される。

論文タイトル

学籍番号　○○○○　氏名　○○○○○

Abstract

以下本文を記載・・・